

金人中筆

發行・熊野櫻
No.5
82.10.25

「基本方針」 批判その二

問題は、放置せばいい状態に至っている
一枚ですみやかに解消するため、新規の
建設を行なうと言っている。あたかも、
まことに星夢一郎の用意がもとをもして

建でない」として、これをサボーラージュしてやった。事実、当局はかつて京大2000人解説員の中をあげて、たとえば政治系専門地元など転用し、19年間に

前回の如きで、我々は
新を嘗てほいからうもの
であるがを述べて来た。
それは、京大へおけら
歴友の前に「これが実質的に破壊してしま
とから、当院が新たにつらだしてまた攻撃
である。二の「在職期限」によつて、どん
なことが起るのを例示してみよう。学生

進むべき道としている。だからといって、建設を行は、新規化の具体的問題、基本方針には、農業一帯に住めなくなること、つまり生を有無を問わずにたき出すのである。だつて、10月12日の「基本方針」は、農業一帯で踏み込んでいく。当の言及もない。吉田農業については、その実現性を否認されていてもおかしくはない。現在の緊急づぶとづつとでは、まさに「新規建設」として、また「新規建設」として、現状の緊急づぶとづつとでは、

久樂化をはしりとし、かくとが金髪をもつて、
るものにてなづけ。在
家期限は、新竹建設の
ために、住んでる間生
じて、いつのまにか、
当局が、今回の「基本方針」で年限が
何とか新竹化する、といふ一点のものは
どうゆう。

当局は意図的に
一方的なだ。

吉田憲の老朽化女 波瀾してやった

当局は意圖的に
吉田寮の老朽化を
放置してやった

縮んでいた。しかも、増田謙吉は、自分や新潟の回摺とは切り離して考
るという體約まで立派にならうとしているのである。
しかし、当局は新潟の回摺(アーチ)。
退廻權は甲子部長もつて、角田正

生活環境が劣悪化するにまかせておいたのは、吉田寮をつくしたといふ當初の判断の上に出でた施設なのである。

うロボットある。しかし、実際はどうだったのか。当局は、吉田寮が國王官邸を賃いていたからこそ、一派をたたき、そぞうとして、無条件新築建設を行った。その上位に老朽化を考慮してやったのだ。

問題は、旅籠しきたり状態に至つていつら
取をすみやかに解決するため、新規の
「審議」を行ふと言つてゐる。あくまでも
自然の推移として吉田屋が老朽化したの
が、当店が連れてきてのリードオフだ。よ

建てないとして、緊サボタージュしてやった。事実、当局はかつて京大2000人審議の中であのアパート建設予定地を次々と転用し、19年に最後に残された修学院の裏山地まで

さつとしてこの年間、さくまに意図的に行なつた「吉田寮の老朽化」は、何とかしてつづいた上り、「吉田寮は老朽化といふが、はけれども建物がいい」と、吉つところのいたいの間、吉田寮は吉田寮新々寮化のたゞにひと、設備充修を行つたことにより形で、吉田寮生の生活破壊を行つてさうしたのである。

「庶民は軍事力支配されでござる」なるギャンペーンは、彼らの「斗争」万針の破産をインペイする事のため、しくまれた全くの党派的行為であった。しかし、このよつなヤンペーンが続けられるやもとの後、学生数は増加していく。實を以てしてこの學生の數は決して薄いのではない。更に、現在、行革等の人民からの過なる収奪が強化されると見れば、ますます庶民と要とする學生は増えるであつ。「利用率の低下」という事も、実は、当局立意的に言つておるのだと、とことん落としていき、吉田寮・熊野寮への在寮期限の設定が廢寮化→新寮化というプランである。

II 熊野寮新寮化

「をも粗う学生部」

今回の文書の中で、当時は熊野寮についても在寮期限を設置する事を躊躇したこと、これが、學生とに引き出しが上り、方策として、在寮期限を打ち出しきりと取るものである。以下には注目しなければならない。新寮政策に対する批判の論拠を確固とし、國の財政費を以てして、我々の要求が叶わぬことを、當初から既往施設の新寮の具体的な計画を示すものといふこと、我々の要求が叶わぬ理由とせめられなければならない。吉田寮・熊野寮への在寮期限の設置と、これによる送還、80年二・一五文書の現状。

終わりに此

- ☆ 学生部は「基本方針」を撤回せよ
- ☆ 学生部長は公開の話し合いに応じよ!
- ☆ 全学友は、10.27 全学集会へ
全力で決起しよう!

= 寅闘争勝利! =